

# 環境学習って 未来のまちを 創ることなんだ



あけましておめでとうございます。  
環境学習都市宣言記念公園(もりやまエ  
コパーク)の供用が始まりました。本市は、  
1年の始まりに、豊かな田園風景や水辺を  
未来へつないでいくための環境学習を実  
践している市民のお話を伺いました。

赤野井湾探検会

大好きだから守りたい、そんな気持ちを伝えていく

エコパークを拠点に環境学習  
を担当しながら、淡海(あまみ)を守る釣  
り人の会や河川環境モニター  
(国委嘱)でも活動。仕事でもブ  
ライベートでも、琵琶湖に「こっ  
りハマ」って暮らしています。  
毎日のように琵琶湖に出掛け  
ていると、澄んだ湖辺でホンモノの  
産卵、シジミやイケチヨウガイの自生など、私たちが  
同じ時間を共有するたくさんの方の命の輝きを発見します。  
市民の環境活動と、自然治癒(ちぢゆ)の力で、琵琶湖は確かに再生して  
きているのが分かります。  
琵琶湖は守山の街や川とつながる母なる湖です。琵琶湖や守山  
の水辺、まちを大好きになってほしい。大好きな場所だから守りたい  
、きれいにしたいと思うのです。美しい景色や命が躍動する映像  
や写真を見せて「琵琶湖ってすごいんだよ、遊びに行こうよ、見に  
行こうよ」と子どもたちに伝えることが私の考える環境学習です。

環境政策課  
環境コミュニケーション  
武田 みゆきさん



## 新環境センターの見学を通して、環境保全とごみ減量の 大切さを学ぶ守山小学校4年生



6階展望台からまちの景色を見る



ごみ処理の施設を見学する



施設の機能や環境保全について学ぶ

## 緑



市環境学習事業推進委員会 委員長  
根木山 恒平さん

自然とのふれあいで  
生きるたくましさ学ぶ

エコパークを拠点に「親子の遊び  
場野菜栽培」「中高生による環境  
活動の発信」を実践中です。

狩猟採集民の遺伝子を持つ人類は、  
水辺や緑地で生き物とふれあう時、  
誰もが高揚しワクワクします。子ど  
もたちは自然の中でワクワクする経  
験から、生きる力やたくましさ  
を学んでいくのだと思います。

未来の世界はどのようなのかな。誰  
にも分からないけれど、豊かな水辺  
や田園風景が、ビルばかりの大都会  
より大きな意味を持つ時代が来るか  
もしれません。



親子の遊び場 野菜の収穫

## ホタル



ほたるの森資料館長  
真田 善之さん

ホタルを愛する心が  
生き物を守る優しさを育む

ふるさと創生を掲げて整備された  
「ほたるの森資料館」は、開館30年  
の節目となりました。

ゲンジボタルはきれいな水辺にし  
か住めません。市街地に飛翔するホ  
タルの復活は、水環境と自然の復活  
のシンボルです。

市内の学校園や子ども会でホタル  
の人工飼育や放流の経験をした子ど  
もは、お母さんの手を引いて飛翔す  
るホタルを見にきてくれます。ホタル  
学習は、子どもから大人へ、水辺  
から心の学びへ、すべてがつながり  
循環しているように思います。



水辺の楽校 ほたる放流

# 伝えたい 夢 を残したい

## 水



市民グループ 夢・びわ湖  
永井 喜子さん

赤野井湾は真珠貝が  
すめる湖に戻った

赤野井湾で真珠の母貝イケチヨウ  
ガイの生育実験をしてきました。  
平成27年に始まり、夏休みには、  
子どもたちと一緒に水質や生育状態  
を確かめたり、真珠を取り出すイ  
ベントを楽しみました。

無事に育つことが分かった赤野井  
湾の真珠は、環境活動から産業へと  
発展しはじめ、生育実験は終了しま  
した。

新しい1年は、ごみ拾いや水質調  
査などの地道な活動を続けながら、  
真珠に続く新しいびわ湖の夢探しを  
していきます。



赤野井湾で育った真珠

## ごみ減



守山南中学校 環境委員長  
種村 魁人さん

ごみ減量とリサイクル  
小さな活動で環境を守る

守山南中学校は、伝統的にごみ減  
量とリサイクルに力を入れています。

各教室に廃紙ボックスを置き、両  
面使用した紙はリサイクルに出し  
片面使用の紙はメモなどに利用して  
います。ペットボトルのキャップは  
クラス対抗「バトル」で回収して文化  
祭で成績発表。今年は全校で85kgが  
集まり、過去一番となりました。

一人ひとりの行動で守山の環境も、  
世界の環境も変わっていくと思います。  
もつぐ卒業ですが、自分ができる小  
さな活動を意識しながら、充実した  
高校生活にしたいと思っています。



廃紙の分別と回収